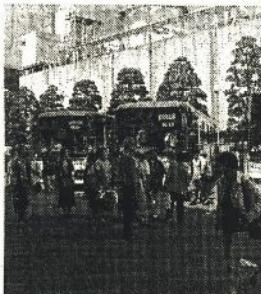


実践項目
校区公民館
一、明るい地域づくり
一、あいさつ運動
一、子供達に夢と誇りを

ふるさと創世 (住み良い町にくらしの工夫)



平成二十一年八月二十一日(金)、田迎校区公民館主催による歴史探訪が行われた。今回は国宝の「阿修羅」展の見学会であった。八月十七日(月)までに、参加希望者を募った所、百四十名近くになり、あわててバスを一台増やし、三台にする。見学会当日に人数が増えて百五十名に達し、バスの大盛況となつた。

一・五町内は一里木バス停に集合、二・三町内は田迎小運動場に集合して、目的の九州国立博物館に向かった。午前中は博多のアサヒビル工場を見学し、アサヒビル園にて昼食をとる。観客が多くて、会場にはいるまで二十分以上待ち

ます。奈良に平城京が置かれた記念事業の一環として春に「東京・上野」で、夏に「九州国立博物館」で所蔵する国宝を一般公開してい

ます。見学会当日に人数が増えて百五十名に達し、バスの補助席を一部使用する。

十名近くになり、あわててバスを一台増やし、三台にする。見学会当日に人数が増えて百五十名に達し、バスを一台増やし、三台にする。

十名近くになり、あわててバスを一台増やし、三台にする。見学会当日に人数が増えて百五十名に達し、バスを一台増やし、三台にする。

國宝「阿修羅」展 見学会実施される

第131号
平成21年9月25日
田迎校区公民館
館長 東旭
編集委員
上田 昭蔵 吉住 久江
小林省三郎 西 朝徳

☎378-5878
編集責任 吉野元生



國宝「阿修羅」展見学

なりました。ありがとうございました。

この説明だった。
実際の阿修羅は、三面六臂の乾漆作りの百五十七
チのすんなりした立像だつ
た。

時空を超えて語る
「阿修羅」
二町内 荒木ひとみ
八月二十一日、町内会役員さんの指示に従い、総勢一七〇人が三台のバスに分乗。

まずアサヒビル工場見学、出来立てビールでのどを潤し、ジンギスカン鍋でボリューム満点の昼食。バスや食事の隣席同士でご挨拶。町内会ならではの交流もツアーナーの楽しさを倍増させました。

阿修羅については、美術の教科書で知っているだけだつたので、バスの中でのVTRが予備知識として役立つた。阿修羅と戦い闘争の絶えないものとされましたが。今の博物館は見学者を楽しませるように出来ていることにも感心しました。参加人数が予想を上回り、役員さんはうれしい悲鳴を上げていらっしゃいまし

テレビでも新聞でも会場には入場者が列を作るほどの人気ぶりだと伝えていました。

「阿修羅」様は、端正なお顔を拝観して、何とも言えない感動を憶えた。そして、遠い古の昔を偲び浮かべながら会場を後にしました。

二町内 石原輝捷
残暑厳しい八月二十一日に、バス三台で太宰府の国立博物館に奈良・興福寺の

アサヒビルの見学後、試飲と昼食を済ませ、阿修羅の展示会場の国立博物館に着いた。

平日にもかかわらず、見学者が多く人気の高さがうかがえた。

阿修羅の回りは多くの人ばかりで人垣がいつこうに動く気配がなかつた。十分見学で

展示会場に入ると、阿修羅の回りは多くの人ばかりで人垣がいつこうに動く気配がなかつた。十分見学で

かがえた。学者が多く人気の高さがうかがえた。

阿修羅の展示会場に入ると、阿修羅の回りは多くの人ばかりで人垣がいつこうに動く気配がなかつた。十分見学で

かがえた。学者が多く人気の高さがうかがえた。